

3 交通

(1) 道路

市南西部地域の道路網は、都市計画道路による「格子状のネットワーク*」により骨格が構成されています。

ちがさき都市マスタープラン（平成 20 年6月、別冊：平成 26 年3月）では、国道 134 号が東西方向の主要幹線に、新湘南国道と中海岸寒川線が南北方向の主要幹線に位置づけられ、地域の外郭を形成しています。ただし、中海岸寒川線は、事業未着手となっており、南北方向の幹線道路網は整っていません。

また、浜見平地区を東西に通過する柳島小和田線（以下、「鉄砲道」という。）とそれに直行する南湖深田線が都市幹線に位置づけられていますが、南湖深田線については事業未着手となっています。

一方、浜見平地区内を南北に通過する左富士通りは、都市計画道路ではありませんが、幹線機能を補う主要な道路として電線類の地中化や歩行者空間の充実、交差点改良が行われています。

また、今後整備を予定している鉄砲道は、市南西部地域の交通を処理する主要な道路であり、自動車の円滑な交通を確保するほか、安全で快適な歩行者・自転車道としての機能に留意していく必要があります。



■ 浜見平地区及び周辺道路網図

*格子状のネットワーク：ネットワークとは、節点と経路からなる回路のこと。ここでは、縦方向、横方向の道路が交差し、升目をつくるような道路網のことを意味しています。

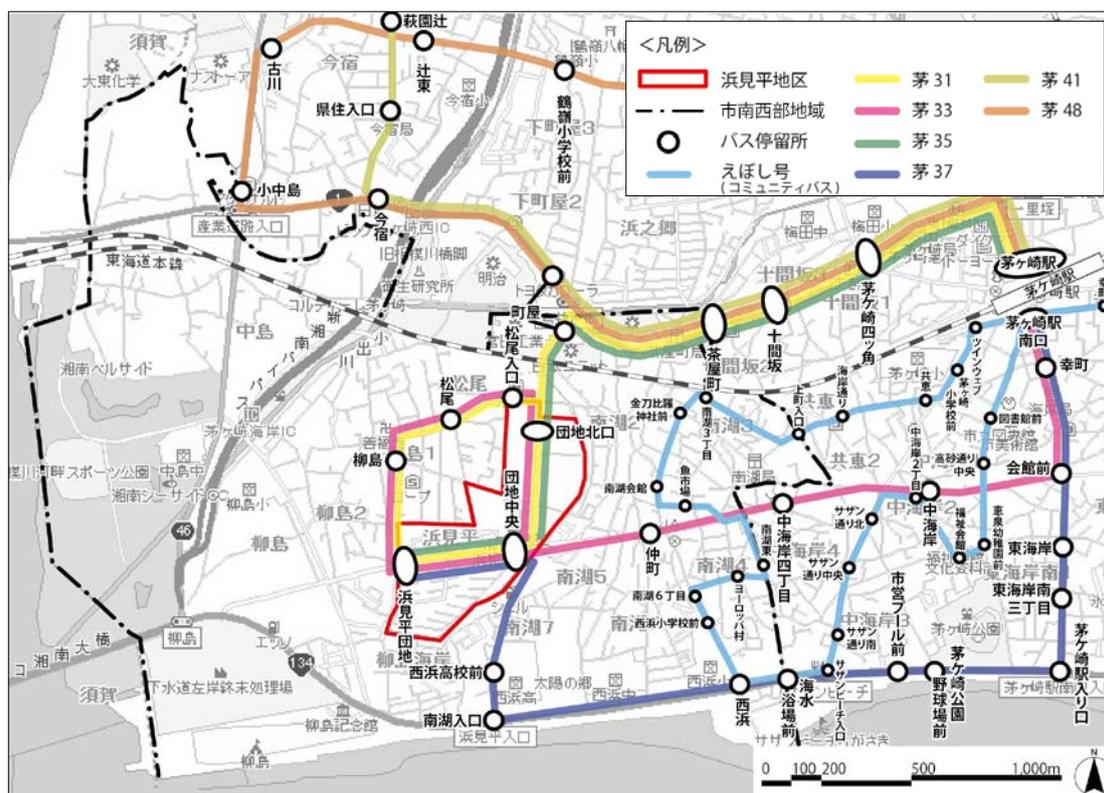
(2) バス

茅ヶ崎駅と浜見平地区を結ぶバス路線は、茅 31 茅ヶ崎駅松尾循環、茅 33 茅ヶ崎駅松尾循環（一部団地北口止まり）、茅 35 茅ヶ崎駅団地（折返）、茅 37 茅ヶ崎駅南口団地（折返）の4路線となっており、地区内のバス停は、浜見平団地、団地中央、団地北口の3か所となっています。

また、南湖地区では、地区をネットワークするコミュニティバスのえぼし号（一日 26 便）が運行しており、市南西部地域北側には茅 41 小谷行（今宿経由）、茅 48 古川・今宿循環が運行しています。

市では、鉄道駅やバス停まで距離がある地域の公共交通の利便性向上を図るため、サイクルアンドバスライド*を推進しており、浜見平団地停留所に隣接する松尾川雨水幹線上を活用し、サイクルアンドバスライド施設（無料自転車駐車場）を設置しています。

今後とも、地域の公共交通の利便性を高める取り組みを検討していく必要があります。



■バス路線図

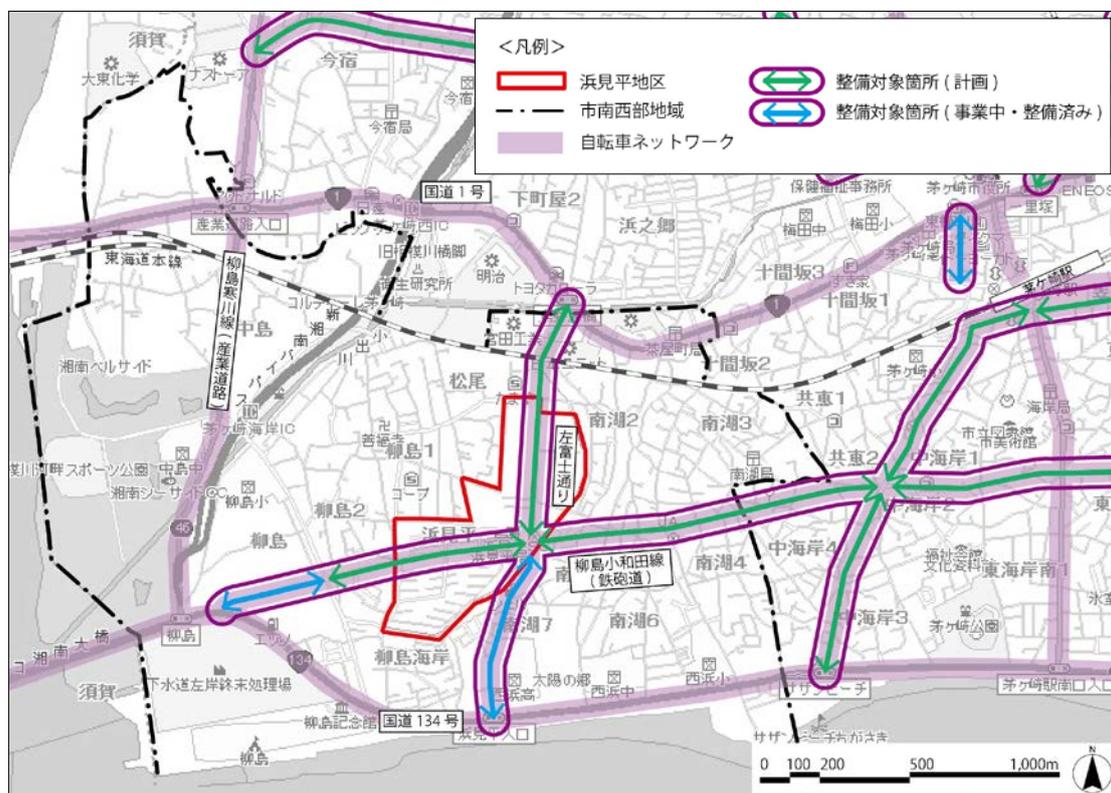
*サイクルアンドバスライド：出発地点（自宅等）から自転車で最寄のバス停まで行き、バス停付近の自転車駐車場に駐車し、バスに乗り換えて目的地に向かうこと

(3) 自転車

茅ヶ崎市幹線道路維持保全計画（自転車ネットワーク計画）（平成27年3月、茅ヶ崎市）では、市内の拠点を結ぶ自転車ネットワークを位置づけています。また、自転車ネットワークの内、市道で自転車利用が多いと見込まれる主要路線や自転車ネットワークを計画した既往計画がある路線について整備対象箇所としています。

市南西部地域では、柳島寒川線、国道1号、国道134号、左富士通り及び鉄砲道が自転車ネットワークに指定されており、まちの骨格となる左富士通りと鉄砲道が整備対象箇所(計画)となっています。

今後整備を予定している鉄砲道については、自転車ネットワーク路線として具体的な整備計画を検討する必要があります。

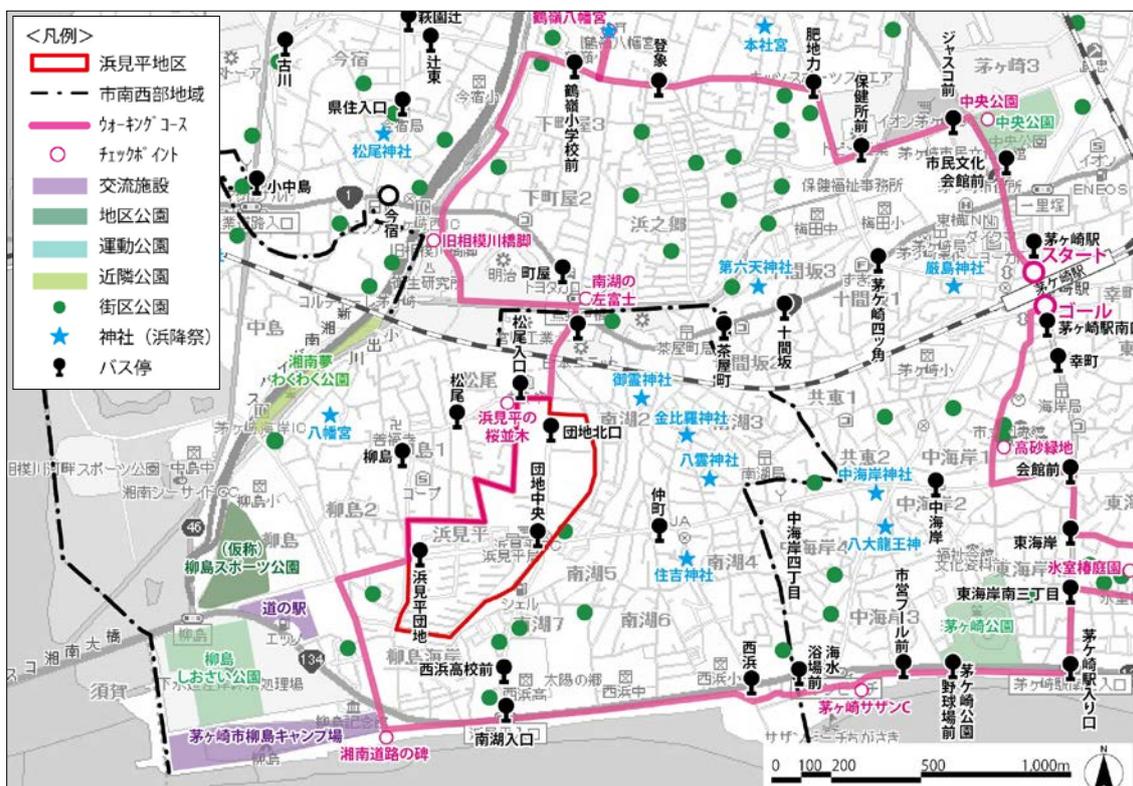


■浜見平地区及び周辺自転車ネットワーク図

(4) 歩行者

茅ヶ崎ウォーキングガイドマップ（平成26年12月）では、アップダウンのある健脚者向けのコースやゆっくり歴史探訪ができるコース等、6つのウォーキングコースが紹介されています。このうち、浜見平地区を経由するコースは、「春の花を愛でながら、歴史と文化と綱元料理を味わう」コースとして、茅ヶ崎駅北口をスタート地点とし、中央公園、鶴嶺八幡宮、旧相模川橋脚、南湖の左富士、浜見平の桜並木、湘南道路の碑、茅ヶ崎サザンC、氷室椿庭園、高砂緑地を巡り、茅ヶ崎駅南口をゴールとしたルートが設定されています。

松尾川雨水幹線緑道化や地区内の歩行者動線の検討にあたっては、このウォーキングコースや市南西部地域の歴史的資源及び周辺公園等とのネットワークに配慮する必要があります。



■ 浜見平地区及び周辺歩行者ネットワーク図